

質 問 回 答 書

次の工事に関する質問に回答します。

工 事 名：R 6 三 土 鍛 冶 屋 敷 急 傾 斜 東 ・ 西 庄 斜 面 対 策 工 事（担 手 確 保 型）
路 線 名 等：鍛 冶 屋 敷 急 傾 斜 地 崩 壊 危 険 区 域
工 事 箇 所：三 好 郡 東 み よ し 町 西 庄

番号	質問事項	回 答
1	<p>工事内容について教えてください。 本工事は、地山を勾配1:0.8で掘削し、擁壁・落石防護柵を施工するようになっております。 横断図より、掘削面に法面保護として、法枠工が計画されているようですが、先送りになったのはなぜでしょうか。 法枠の前面に構造物が先に施工されてしまうと、法枠組立配筋時の鉄筋建て込み時には、落石防護柵が支障になり、また、モルタル吹付時には、落石防護柵等に養生が必要になります。 また、掘削面をそのまま放置すると、雨水に浸食され、法尻に土が堆積し、除去しなければならなくなります。 本工事路線の三加茂東祖谷山線道路改良工事においても、法枠工が先行されていました。</p>	<p>法枠工、擁壁工に必要な土工を一度で完了し、現場付近に居住している方への影響を最小限にすべく、設計図書に記載の施工方法としております。 また、法枠施工時には、切土面の状況に応じて、施工に必要な費用を計上します。</p>